

2023 年度（第 21 回）「高峰記念第一三共賞」の受賞者として、藤堂 具紀博士（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野 教授）を選出しましたのでお知らせいたします。

受賞対象研究

「遺伝子組換えウイルスを用いたがんのウイルス療法の開発研究」

藤堂博士は東京大学医学部医学科卒業後、独エアランゲン・ニュールンベルグ大学研究員、米ジョージタウン大学助教授、米ハーバード大学マサチューセッツ総合病院助教授、東京大学医学部脳神経外科講師、同大学院医学系研究科・医学部附属病院トランスレーショナルリサーチセンター特任教授を歴任され、2011 年より東京大学医科学研究所先端医療研究センター先端がん治療分野教授。

藤堂博士は、一貫してウイルスによる革新的がん治療法に取り組み、その治療効果の機序として、ウイルスの直接的殺細胞作用に加え、特異的な抗がん免疫が惹起されることを見いだした。特に、三重変異を導入した第三世代がん治療用ヘルペスウイルス G47Δによる画期的なウイルス療法を開発した。この技術を用いた膠芽腫を対象とした治験で優れた成績を上げ、製造販売承認（条件及び期限付）を取得している。さらに近年では、G47Δにさまざまな機能を付加した新規がん治療用ウイルスを次々に開発しており、新しいがん治療法として注目を浴びている。

（所属機関・役職）

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野 教授

（主な略歴）

1985 年 東京大学 医学部医学科卒業
1990 年 独エアランゲン・ニュールンベルグ大学 研究員
1995 年 米ジョージタウン大学 研究員 1998 年 同 助教授
2000 年 米ハーバード大学マサチューセッツ総合病院 助教授
2003 年 東京大学医学部脳神経外科 講師
2008 年 東京大学大学院医学系研究科 特任教授
2011 年 東京大学医科学研究所先端医療研究センター先端がん治療分野 教授

（主な受賞歴）

2016 年 第 3 回イノベーター・オブ・ザ・イヤー
2019 年 平成 30 年度高松宮妃癌研究基金学術賞